

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャレンジアカデミー中ノ橋通		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 25日		～ 令和7年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 25日		～ 令和7年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な活動プログラムを立案し、普段なかなか経験できないことにも挑戦できる環境を整えている。	担当者だけでなくチームで企画立案を行うことで、興味を惹く活動を偏りなく行っている。また、お子様にやってみたい活動のアンケートを取り意見を取り入れている。	保護者様からのご意見や他事業所さんのイベント等も参考にさせていただきながら、新しい活動を取り入れていく。
2	広い室内で様々な過ごし方が可能。	静と動の空間をエリア分けすることで、お子様が自分で過ごし方を選択し決定する自主性を尊重している。	職員主導ではなく、できる限りお子様たちが「自分で選んで自分で決める」ことに喜びが持てるようサポートする。平日限定で「選択式プログラム」も実施しているため内容の充実を図っていく。
3	多数の学校から通所してきていただいているので、普段は交流できない方と接点を持ち交流することができる。	遊びを通し広い交友関係が持てるよう、職員が必要最低限で橋渡しをするよう意識している。	保護者参観や懇談会の機会を作り、お子様同士の関係性だけでなく保護者様同士やご兄弟も交流できる機会を今後検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の構造がバリアフリー化していない。	建物の構造と事業所の場所が2階なので、階段を使用している。	危険と思われる箇所にはガードやクッションを設置し、バリアフリー化はしていないものの安全な事業所を作っていくため、こまめに点検を実施する。
2	地域イベントの参加や交流の機会がない。	感染症の流行以来、地域交流の機会や地域イベントの開催が少なくなっている。	地域のイベントスケジュールや公共施設で行われているイベントの日程を把握し、参加できる機会を設けるようにしていく。
3			